

日 付 令和2年3月16日(月)
担当所属 山梨県教育庁 学術文化財課
担当者名 尾形 哲哉
連絡先 055-223-1792 (内線:8515)
<http://www.pref.yamanashi.jp/gakujutu/bunkazaihogo/houdou.html>

登録有形文化財（建造物）の登録について

○令和2年3月19日（木）に開催される国の文化審議会（会長 さとうまこと 佐藤信氏）は、新たに133件を登録有形文化財（建造物）とするよう文部科学大臣に答申する予定です。なお、報道の解禁は次のとおりでお願いします。

報道解禁

- ・ラジオ、テレビ、インターネット
: 3月19日（木）17時以降
- ・新聞 : 3月20日（金）朝刊

○山梨県内での登録有形文化財（建造物）は次の9件（詳細別紙）

- 「山梨大学水晶庫」やまなしだいがくすいしょうこ（甲府市）
- 「身延山久遠寺御真骨堂」みのぶさんくおんじごしんこつどう（南巨摩郡身延町）
- 「身延山久遠寺祖師堂前香炉屋」みのぶさんくおんじそしどうまえこうるや（南巨摩郡身延町）
- 「身延山久遠寺祖廟拝殿」みのぶさんくおんじそびょうはいでん（南巨摩郡身延町）
- 「身延山久遠寺祖廟域水屋」みのぶさんくおんじそびょういきみずや（南巨摩郡身延町）
- 「身延山久遠寺莚師堂」みのぶさんくおんじえんしどう（南巨摩郡身延町）
- 「身延山久遠寺奥之院思親閣鐘堂」みのぶさんくおんじおくのいんしんかくしょうどう（南巨摩郡身延町）
- 「身延山久遠寺発軫閣」みのぶさんくおんじほっちんかく（南巨摩郡身延町）
- 「身延山久遠寺総門茶屋」みのぶさんくおんじそうもんちやや（南巨摩郡身延町）

○この結果、官報告示を経て、本県の登録有形文化財（建造物）は、合計151件となる見込みである。

※文化財登録制度

届出制と指導・助言・勧告を基本とする緩やかな保護制度で、従来の指定制度を補完する制度として平成8年10月に創設された。

建築後50年を経過している建造物で、次の基準のいずれかにあてはまるものが登録有形文化財（建造物）の対象となる。

- 一 国土の歴史的景観に寄与しているもの
- 二 造形の規範となっているもの
- 三 再現することが容易でないもの

別紙

- 1 種 別 建築物
- 2 名 称 山梨大学^{すいしょうこ}水晶庫
- 3 所在地 山梨県甲府市武田4丁目4-37
- 4 所有者 国立大学法人山梨大学
- 5 建築年代 昭和2年／平成30年移築
- 6 登録基準 「(二)造形の規範となっているもの」
- 7 特徴等

山梨大学甲府キャンパス正門北側に建つ鉄筋コンクリート造りの建物で、不燃性の水晶類標本室として山梨県師範学校に建設されたものである。建物の四面にある窓の上部に、水晶をモチーフしたレリーフが飾られている。山梨県内の初期の鉄筋コンクリート造り建築として貴重な建物である。



外観



内観

別紙

- 1 種 別 建築物
- 2 名 称 身延山遠寺御真骨堂ごしんこつどう
- 3 所在地 山梨県南巨摩郡身延町身延4252
- 4 所有者 久遠寺
- 5 建築年代 明治14年
- 6 登録基準 「(二)造形の規範となっているもの」
- 7 特徴等

久遠寺の仏殿西側の傾斜地に建つ八角堂で、拝殿から前室廊下でつながっている。明治8年(1875)年の大火の後、明治14年(1881)に再建された建物である。外部は、漆喰塗で、東西に唐破風付きの窓が設けられている。



外観



内観 (拝殿へ続く廊下)

別紙

- 1 種 別 建築物
- 2 名 称 身延山久遠寺そしどうまえこうろや祖師堂前香炉屋
- 3 所在地 山梨県南巨摩郡身延町身延4252
- 4 所有者 久遠寺
- 5 建築年代 明治12年
- 6 登録基準 「(二)造形の規範となっているもの」
- 7 特徴等

平成30年に登録された「祖師堂」の正面に建つ、香炉の覆屋おおいや。小規模ではあるが良材を用いて細かい彫刻、組物が細部に施されており、見応えのある建物である。



外観（後方は祖師堂）



彫刻

別紙

- 1 種 別 建築物
- 2 名 称 身延山久遠寺祖廟^{そびょうはいでん} 拝殿
- 3 所在地 山梨県南巨摩郡身延町身延3628
- 4 所有者 久遠寺
- 5 建築年代 昭和17年
- 6 登録基準 「(二) 造形の規範となっているもの」
- 7 特徴等

平成30年に登録された「祖廟塔^{そびょうとう}」の前に建つ拝殿で、軸部から軒に至るまで丸太で構成されており、切妻造檜皮葺の屋根を持つ。手摺りなど随所にモダンな意匠がみられる建物である。



外観



内部 (天井)

別紙

- | | | |
|---|------|----------------------------------|
| 1 | 種 別 | 建築物 |
| 2 | 名 称 | 身延山久遠寺祖廟域水屋 ^{そびょういきみずや} |
| 3 | 所在地 | 山梨県南巨摩郡身延町身延3626 |
| 4 | 所有者 | 久遠寺 |
| 5 | 建築年代 | 昭和19年 |
| 6 | 登録基準 | 「(二)造形の規範となっているもの」 |
| 7 | 特徴等 | |

祖廟拝殿の手前に建つ切妻造檜皮葺の建物で、拝殿同様に円柱で構成されており、大きな自然石を加工した水盤をまたぐ四本の柱も太い丸太が使用されている。



外観

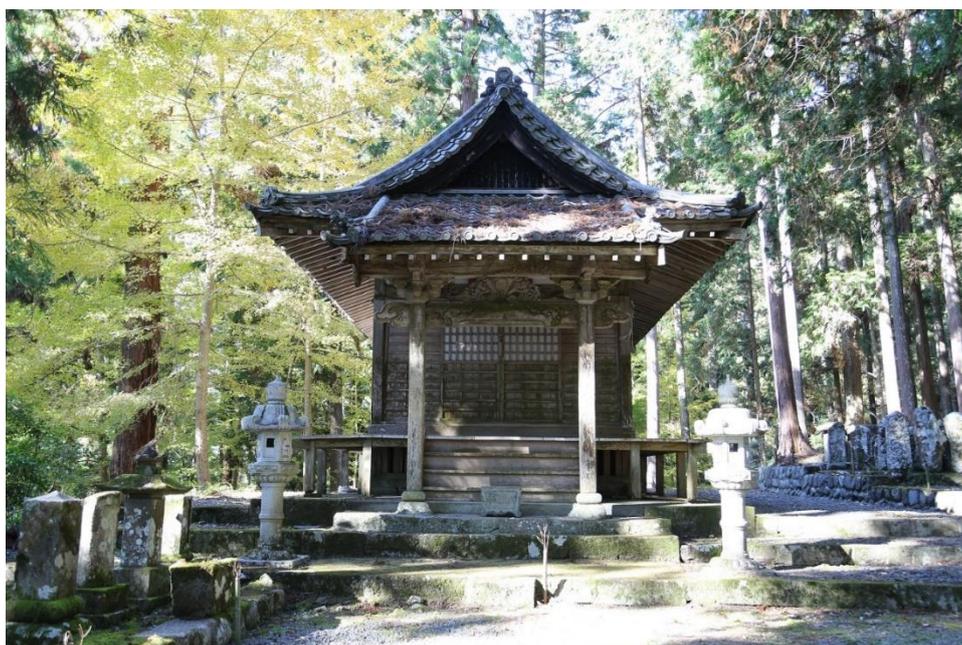


内側（屋根側面）

別紙

- 1 種 別 建築物
- 2 名 称 身延山久遠寺えんしどう蓮師堂
- 3 所在地 山梨県南巨摩郡身延町身延4226
- 4 所有者 久遠寺
- 5 建築年代 明治9年／平成3年改修
- 6 登録基準 「(一) 国土の歴史的景観に寄与しているもの」
- 7 特徴等

中心伽藍の北側上方にある、第29世日蓮上人を祀る建物である。明治8年の大火の際に前身の堂が焼失し、同9年に再建され、平成3年に(1991)堂内に修繕が施されている。内外とも質素な意匠であるが、向拝回りの彫刻などが装飾性を高めている。



外観 (正面)



内観

別紙

- 1 種 別 建築物
- 2 名 称 身延山久遠寺奥之院思親閣鐘堂おくのいんしんかくしょうどう
- 3 所在地 山梨県南巨摩郡身延町身延4222
- 4 所有者 久遠寺
- 5 建築年代 昭和10年
- 6 登録基準 「(一) 国土の歴史的景観に寄与しているもの」
- 7 特徴等

身延山頂に所在する思親閣に建つ、入母屋造瓦銅板葺屋根の鐘堂で、彫刻、組物が細部に施されている。軒の出も深く安定感のある建物である。



外観



内側

別紙

- 1 種 別 建築物
- 2 名 称 身延山久遠寺ほっちんかく発軫閣
- 3 所在地 山梨県南巨摩郡身延町身延4007
- 4 所有者 久遠寺
- 5 建築年代 元文4年(1739) / 昭和55年改修
- 6 登録基準 「(一) 国土の歴史的景観に寄与しているもの」
- 7 特徴等

総門内側の参道に直交する石段の上に建つ、入母屋造妻入、銅板瓦棒葺の建物である。日蓮聖人を鎌倉から身延に招かれた際、出迎えた場所とされており、発軫閣の名称には、ここから身延山がはじまる場所という意味がある。



外観



内観

別紙

- 1 種 別 建築物
- 2 名 称 身延山久遠寺そうもんぢやや総門茶屋
- 3 所在地 山梨県南巨摩郡身延町身延4007
- 4 所有者 久遠寺
- 5 建築年代 明治27年
- 6 登録基準 「(二)造形の規範となっているもの」
- 7 特徴等

総門の脇に建つ木造入母屋造棧瓦葺の建物である。主に徒歩で参拝が行われていた時代、参拝者を接待した施設で、当時はこの茶屋で一休みしてから久遠寺に詣でることが盛んであった。



外観



内観